

# 水生生物の分布，生態調査 櫛田川水系アユ遡上調査

宮本 敦史

## 目的

櫛田川水系におけるアユの遡上実態を把握し，アユ資源動向を考察する資料とする。

## 方法

櫛田川水系櫛田川と祓川では下流域で汲み上げ放流用等の種苗を確保するため毎年4，5月に遡上稚アユを採捕している。採捕時期及び採捕量について聞き取りを行うとともに，採捕された個体のうち30尾程度を無作為抽出し体長体重を測定した。

## 結果

櫛田川における採捕は4月12日にはじまり5月29日まで続いた。採捕量は1889kgと記録的な豊漁であった昨年度から比べるとほぼ半減したが，昭和41年以降の平均採捕量1347kgを上回る漁獲量であった。祓川における採捕は4月3日にはじまり5月29日まで続いた。採捕量

は350kgと昭和42年以降の平均採捕量193kgを上回る漁獲量であった。

櫛田川で採捕されたアユについては4月13日，14日，5月5日に漁獲されたものについて魚体測定を行い，その結果を表1に示した。同じく祓川で採捕されたアユについては4月3日，12日，14日，20日，23日，28日，5月7日，5月20日に漁獲されたものについて魚体測定を行い，その結果を表2に示した。

例年早く遡上した群ほど魚体サイズが大きい，今年度は祓川の遡上初期で逆転現象がみられたものの，その後は早く遡上した群ほど魚体が大きい傾向がみられた。櫛田川と祓川ではほぼ同時期に遡上したと考えられる遡上群2例（櫛田川4月14日採捕分と祓川同日採捕分，櫛田川5月5日採捕分と祓川5月7日採捕分）について体長体重を比較したところ，前者では有意差はなかったが後者は櫛田川の遡上群の個体の方が有意に大きかった。

表1 櫛田川遡上アユの体長・体重

採捕日	体長 (mean ± SD)	体重 (mean ± SD)
4月13日	8.4 ± 0.7cm	7.2 ± 1.7g
4月14日	7.7 ± 0.9cm	5.9 ± 2.2g
5月5日	6.6 ± 0.8cm	3.7 ± 1.2g

表2 祓川遡上アユの体長・体重

採捕日	体長 (mean ± SD)	体重 (mean ± SD)
4月3日	7.9 ± 0.5cm	6.0 ± 1.3g
4月12日	8.1 ± 0.6cm	6.3 ± 1.4g
4月14日	7.8 ± 0.6cm	5.5 ± 1.3g
4月20日	7.0 ± 0.6cm	4.1 ± 1.3g
4月23日	6.7 ± 0.6cm	3.4 ± 1.1g
4月28日	6.0 ± 0.4cm	2.4 ± 0.6g
5月7日	5.8 ± 0.7cm	2.4 ± 1.5g
5月20日	5.4 ± 0.4cm	2.2 ± 0.5g

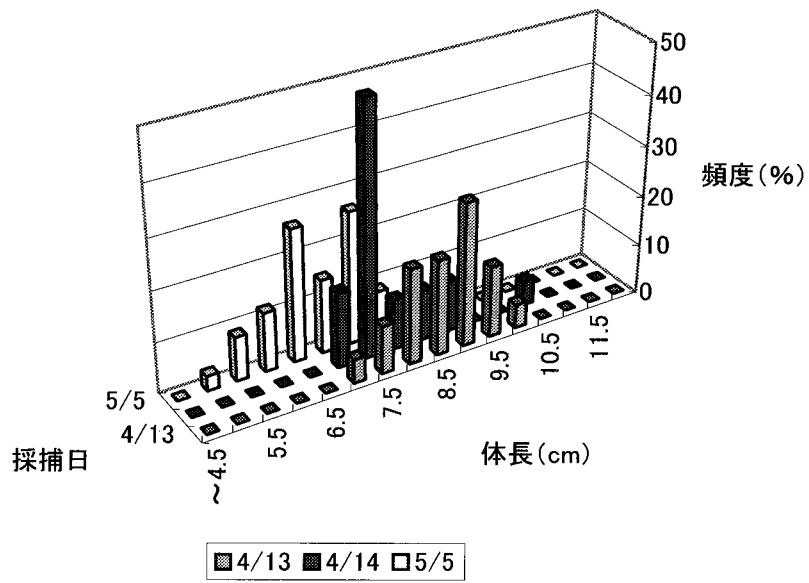


図1 榑田川遡上アユの体長組成

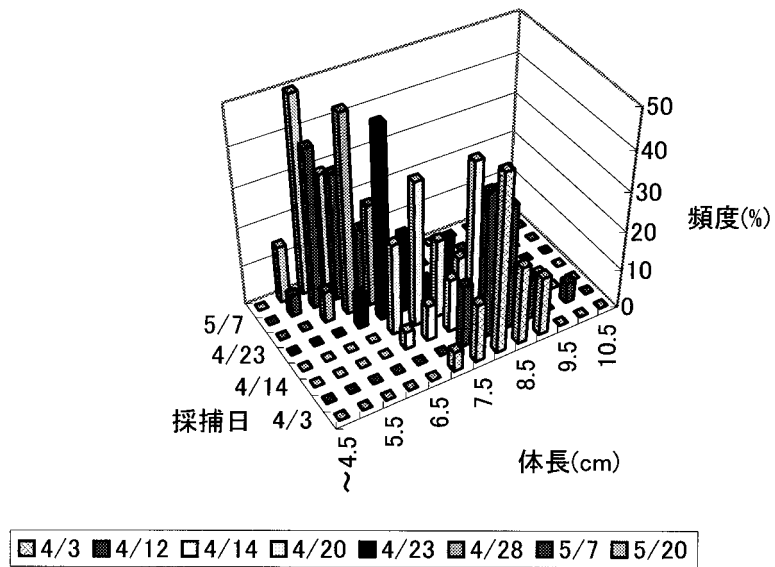


図2 祓川遡上アユの体長組成